第12期　指導者部会だより　2026.10月

◆活動報告

【アンケート実施】

5月12日～25日実施：「もしもし検定の試験問題や品質向上研究会に関するアンケート」

8月6日～8月20日実施：「受験者を増やす取り組みへのアンケート」

アンケートにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

結果は事務局を通じ、別途メールにて皆さまへご報告させていただきました。

【生成AIはじめの一歩】開催日：2026年9月11日

AI時代の指導者に必要なリテラシー習得を目的に、生成AIの基礎知識や用語、リスク等を学ぶセミナーを開催。約40名が参加し、満足度は95%を超えました。参加者からは「用語解説が分かりやすい」「人間力の重要性に気づいた」といった声が寄せられました。横山先生もご同席の上、最新情報をご共有いただき有意義な時間となりました。

◆「検定指導者のためのハンドブック」をご紹介します。

※お困りごとはハンドブックをご覧ください

知っていると役立つ情報が載っています。　どうぞ日々の活動にご活用ください。



ここから入れます

【掲載内容】

- 「5年間の指導及び試験官の経験」の例示
- 資格更新のための研修の受講例
- 試験官実績、必須研修受講記録のメモ欄など

指導者級専用ページ

https://www.jtua.or.jp/education/moshimoshi/report

PW：moshimoshiXXXX

◆ 指導者部会から事務局への質問と回答

私たち第12期指導者部会ではアンケートや部会活動の中で指導者の皆さまからいただいたご意見やご要望に関して、事務局へお問い合わせした内容と、その回答をQ＆A形式でお知らせします。

Q. AIによる採点が試験的に実施されていると伺っています。今後、コンクールやもしもし検定において、AIによる採点をどのように活用していく予定なのでしょうか。

A. 現在、電話応対コンクールでは、希望する選手を対象に、AIによる応対分析を行い、フィードバックレポートを提供する取組みを行っています。
今後の電話応対コンクールについては、AIを電話応対の相手役として活用し、実践的な電話応対トレーニングができる仕組みについて検討してまいります。
もしもし検定においては、電話応対コンクールでの実施結果を確認しながら、将来的なAIの活用について検討してまいります。

Q. 電話応対コンクール全国大会の開催場所について、現在の開催方法から変更される予定があると聞きました。現時点で決まっていることがあれば教えてください。

A. 電話応対コンクール全国大会については、現時点でコンクール自体の開催方法を大きく変更することは考えておりません。一方で、当協会のICT活用推進事業の一環として、全国大会にあわせてICTセミナーを実施するなど、テレコミュニケーション教育事業とICTに関する取組みを組み合わせた開催について、現在検討を進めています。
具体的な内容については、今後の検討を踏まえて決定していく予定です。

◆今後の予定

・電コン前日指導者級交流会　inアクロス福岡　会議室604　詳細は別途メールにてご案内いたします。
指導者が対面で交流できる数少ない機会です。お気軽にご参加ください。

・もしもし検定の認知拡大を目的としたPR動画を作成しました。
電話応対コンクール全国大会にて上映予定です。
ロビーのデジタルサイネージでも上映します。足を止めてご覧いただけると嬉しいです。

・ウェルカムワークショップ　11月20日開催予定
38期とこれから初めて更新を迎える方が対象です。
指導者として活動していくうえで必要となる知識や考え方を学んでいただくとともに、指導者同士の交流を深めていただくことを目的としています。